

## 第4A(小)分科会 組織・運営に関する課題

提案主題 学校重点目標達成に向けて組織的に取り組むための教頭の役割  
サブテーマ ~学校が「チーム津留」として機能するために~  
協議の柱 教職員全員が、意欲をもって重点目標達成に向け組織的に取り組むための教頭としての役割は何か。

提言者 大分市立津留小学校 高田友裕

### 1 質 疑

- (1) Q (津留小独自の取り組みである) レベルアップ講座とはどのようなものか。  
A 校長提案により若手教員の育成を目的に昨年度の校内研修に位置付けたことから始まり、今年度は教務主任が取りまとめを行い、校内ミドルリーダーを講師として、月1回程度を目標に実践的な研修を行っている。
- (2) Q 企画委員会(県では運営委員会)の内容の周知はどのように行っているか。  
A 職員会議や校内連絡会(水曜日の校内研修前)で周知しているが、企画委員会で特に修正等無かったものについては学年部会で伝えるのみの場合もある。

### 2 協 議

- (Aグループ) 大分市は学校規模が大きく、各種会議に職員が集まるのも大変であろう。結果的に超過勤務が増えることが懸念される。また、重点目標達成に向けて全員がやる気を持って取り組むことの難しさがある。教頭として、スケジュール管理をはじめ、職員に仕事を任せることも重要となってくる。
- (Bグループ) 学校重点目標達成に向けて、会議のスケジュール管理をしっかり行い、企画委員会を中心とした学校運営が組織的に取り組まれているレポート内容は大変参考になった。教頭としてやはり会議等の時間の確保(スケジュール管理)が大きな腕の見せ所である。
- (Cグループ) 学校規模に応じた会議の運営方法が大切である。学年部会が一つの柱となる場合は学年主任の働きも重要であり、若手のみならず、主要主任(ミドルリーダー)の育成も大きな課題である。

### 3 指導助言

- (1) 学校が組織的に取り組むためには、重点目標の設定に教職員が関わるのが大切であり、津留小学校ではそれがきちんと行われ、短期のPDCAで評価改善までなされているところが素晴らしい。また、個人の目標管理との連動も大切な視点である。
- (2) 教職員全員が「芯の通った学校組織推進プラン」を理解し、目標達成に向けて取り組むことの重要性が求められる中、それを周知徹底させること、また、学校運営に関する各種会議のスケジュール調整は教頭として大切な役割である。
- (3) 教職員(特にミドルリーダー)との人間関係づくりのために、教頭として授業観察等を通じた指導助言を行うことが大切である。また、校長・教務主任等と連携し、管理職チームを機能させることも組織的に取り組むためには大変重要である。